

(3) 昭和40年度の事業計画案

	開催予定月日	開催予定地名	参加人員	研究 主 題
1 研究大会 (1)研究発表大会	11月下旬	県北	600	会員の研究発表で主題は自由とする
2 研究調査 (1)教育課程の研究	6~7月	福島市	20	指導計画のあり方
3 研究成果刊行 (1)機関紙の発行	7月1月			
(2)研究集録の刊行	2月			

(1) 福島県中学校教育研究会 国語部会

事務所所在地 福大学芸学部付属中学校
TEL (福島局 2-6442)

1 昭和40年度の会運営・研究に対する方針

- (1) 国語部研究大会は小中連絡をとりながら当面の課題である「ことばのきまりに関する事項」の教材研究、ならびにその指導法の研究を主題として、すすめていきたい。
- (2) 各支部での研究成果を集録し、研究の交流と県内の研究の動勢をは握するための資料として役立てたい。
- (3) 大学の先生方、指導主事の先生方の指導のもとに、各支部を単位とする研究体制を確立するとともに、県下の共同研究の推進に努めたい。

2 昭和40年度の事業計画案

	開催予定月日	開催予定地名	参加人員	研究 主 題
研究大会 県大会	11.10	二本松市	350	ことばのきまりに関する指導はどうにしたらよいか

(2) 福島県中学校教育研究会 社会部会

事務所所在地 福島大学学芸学部付属中学校
TEL (福島局 2-6442)

1 昭和40年度の会運営・研究に対する方針

- (1) 研究会を開催し、当面の課題と考えられる学習指導法および教材研究についての研究を深め、意欲的な実践を通しての協議を行ない、社会科の向上に資する。
- (2) 各学年共通主題のもとに研究を推進する。
- (3) 研究会が効果的に運営されるために、事前研究の充実化につとめる。

2 昭和40年度の事業計画案

	開催予定月日	開催予定地名	参加人員	研究 主 題
1 研究大会 県社会科学習指導法研究大 会	10月 下旬	福島・ 三中	500	授業において資料をどのように活用した らよいか

	開催予定月日	開催予定地名	参加人員	研究 主 題
県南研究会 (地区)	10月 中旬	田村・ 船引中	200	
会津研究会 (地区)	10月 中旬	耶麻・ 西会津中	200	
浜通り研究会 (地区)	10月 中旬	相馬・ 小高中	200	

(3) 福島県中学校教育研究会 数学部会

事務所所在地 福大学学芸学部付属中学校
TEL (福島局 2-6442)

1 昭和40年度の会運営・研究に対する方針

- (1) 数学教育研究県大会は小・中・高連絡をとりながら、当面の課題である教材の研究ならびにその指導法の研究を主題として会津地区で開催したい。また前年に統いて講習会を持ち数学教育に関する諸問題についての究明をしていきたい。
- (2) 今年度も福大の先生方、指導主事の先生方の指導のもとに各支部を単位とする研究体制を確立し、特に共同研究の推進に努めたい。
- (3) 各支部で研究したものを集録し、研究の交流と県内の研究の動勢をは握するための資料として役てたい。

2 昭和40年度の事業計画案

	開催予定月日	開催予定地名	参加人員	研究 主 題
1 研究大 会 県大会	10月	坂下町	350	①数式教材 ②関数教材 ③図形教材の研究とその指 導法 特に①では正の数・負の数 の指導 ④では作図の指導 について
2 研究調 査 講習会	1月	福島市	100	数学教育における諸問題の 究明

(4) 福島県中学校教育研究会 理科部会

事務所所在地 福島市立渡利中学校
TEL (福島局 2-4297)

1 昭和40年度の会運営・研究に対する方針

- (1) 第2年目であるので、中学校部会独自の計画により、会の運営と研究修会を開く。
- (2) 各支部との連らくを一層密にして支部の研究活動の充実に努力する。
- (3) 理科教育センターとの連らくを密にして会員の研修の深化につとめる。

2 昭和40年度の事業計画案